



テーマ 「自分の住みたいところで、きらっと光る人生を送る」

人は皆、その望む地域で、「人としての尊厳ある、きらっと光る人生」を送りたいと願うものである。しかしながら、その人に障害がある場合、そこに何らかの福祉的支援が必要となり、公的制度による支援が選択されることになる。

この場合、それぞれの地域において有効かつ選びたい社会資源が十分にそろっており、その組み合わせ利用の結果、「利用者満足」が得られることが重要である。

本研究大会は、平成24年度から「付帯決議の“小規模入所施設”とは、国はいったい何を考えているのか？」からスタートし、会を重ねて具体的な議論をしながら厚生労働省及び国会議員に対して、毎年、提言をし続けてきた。

平成27年度には「地域生活支援拠点等整備推進モデル事業」が公募され、全国で9か所の地域で協議会を設置し検討を重ねその内容が発表された。本研究大会ではそれらの内容を参考にしながら、全国のそれぞれの地域での地域生活支援拠点等事業について議論し、更には条件整備のための課題を拾い出し、それぞれの地域で考える時の参考になるようにと整理をしてきた。

しかし、第4期障害福祉計画（平成27年度～29年度）で地域生活支援拠点等事業の整備計画の申請が極めて少なく、次の第5期障害福祉計画（平成30年度～32年度）へ持ち越されることになった。必要な資源なのに足踏みするのは何が問題なのか。

現在考えられることは、地域行政の動きが鈍くロードマップは示したものの「地域の問題としての共有化」が進んでいない。その中で、地域行政が地域事業体といっしょに取り組んでいる所が出始めた。今回は次の3点を問題にあげ論じたいと思う。

- 1) 本事業を「地域の問題としての共有化」を図り具体的に動きだしている行政の実践
- 2) 事業を整備するための施設整備費の問題への行政の考え方
- 3) 事業で必要となる24時間型支援に対する相談支援事業の取り組みの問題

以上の内容から考えて、障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、障害者の生活を地域で支える地域生活支援拠点等事業の考え方をさらに整理していきたい。さらに、最近「我が事・丸ごと・地域共生社会実現本部」からの動きがでてきている。その取り組みも本事業の地域の支えになるのではないかとの思いも出てきた。

障害のあるすべての人が「きらっと光る人生」を送るためには、すでに制度化されているもの、これから制度の中で具体化されようとしているものにとどまらず、「必要とされるもの」をしっかりと明らかにしていかなければならない。

この研究大会では、テーマである「自分の住みたいところで、きらっと光る人生を送る」ための「すばらしい発想」、「発想を生かし推進するエネルギー」、「着実に実行していく実践力」といったものについて議論し、そして、それが政策・行政にどのように作用していくべきかについて共に考え、法施行後3年の見直しに対して提言することを目的としたい。

内 容

行政説明（10：10～11：10）（質疑なし）

テーマ：「障害者の高齢化・重度化・親亡き後の生活場と支援」の現状と今後の展望

講師 げんが まきこ
源賀 真規子 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課長

実践報告（その1）（11：20～12：00）（質疑なし）

テーマ：「障害者の高齢化・重度化・親亡き後の生活場と支援」の現状の取り組みと展望

発表者 こいけ ひとし
小池 齊 千葉県我孫子市 健康福祉部 障害福祉支援課 課長補佐

実践報告（その2）（12：00～12：40）（質疑なし）

テーマ：「障害者の高齢化・重度化・親亡き後の生活場と支援」の現状の取り組みと展望

発表者 てらおか けいじろう
寺岡 慶治郎 広島県廿日市市 福祉保健部次長（兼）福祉総務課長

実践報告（その3）（13：30～14：10）（質疑なし）

テーマ：「障害者の高齢化・重度化・親亡き後の生活場と支援」の中で相談支援事業の役割と展望

発表者 ながた ひろし
永田 拓 岡山県倉敷地域基幹相談支援センター 施設長

シンポジウム（14：20～16：00）（申し込まれた方から事前に質問を受けます）

テーマ：「安心できる親亡き後の生活場とその支援を考える」

進行 そえじま ひろかつ
副島 宏克 （広島県手をつなぐ育成会 会長）

えとう せいいち
衛藤 晟一 （参議院議員 自民党）

やまもと ひろし
山本 博司 （参議院議員 公明党）

げんが まきこ
源賀 真規子 （厚生労働省 障害福祉課長）

こいけ ひとし
小池 齊 （千葉県我孫子市役所 障害福祉支援課 課長補佐）

てらおか けいじろう
寺岡 慶治郎 （広島県廿日市市役所 福祉保健部次長）

ながた ひろし
永田 拓 （岡山県倉敷地域基幹相談支援センター 施設長）

【障害者福祉の展望について】

地域の中で「障害者の高齢化・重度化・親亡き後の生活場と支援」について、
これからの展望をシンポジウムの中で、15分ほどで語っていただきます。

障害者福祉の展望（シンポジウムの中で）	（14：20～14：35）	（質疑なし）
テーマ：「障害者の高齢化・重度化・親亡き後の生活場と支援」についての展望		
講師	えとう せいいち 衛藤 晟一	参議院議員（首相補佐官）、社会福祉推進議員連盟会長

障害者福祉の展望（シンポジウムの中で）	（14：35～14：50）	（質疑なし）
テーマ：「障害者の高齢化・重度化・親亡き後の生活場と支援」についての展望		
講師	やまもと ひろし 山本 博司	参議院議員 厚生労働委員会 理事

申し込み

(1)申込先 広島県手をつなぐ育成会 FAX (082) 537-1778

(2)締め切り 平成30年11月16日（金）

(3)申し込みの方法

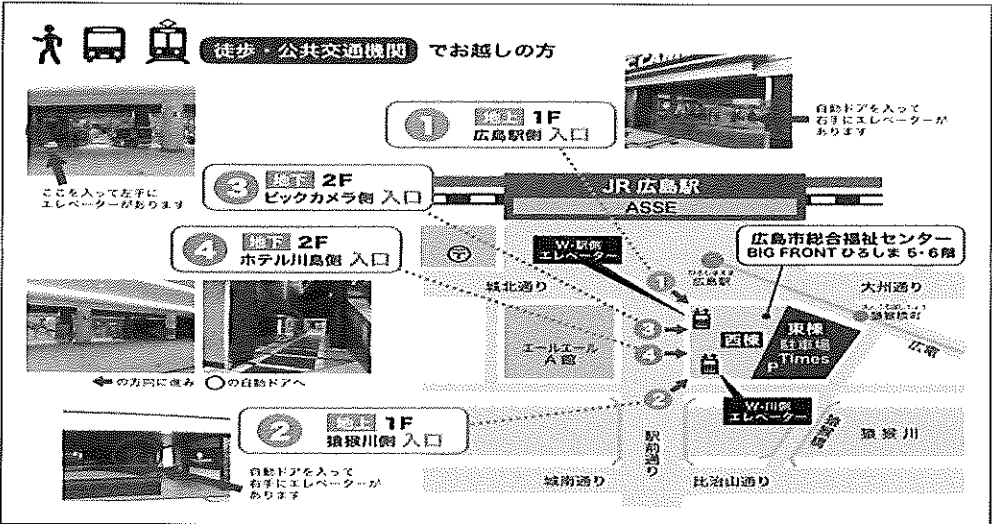
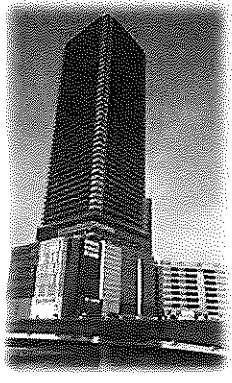
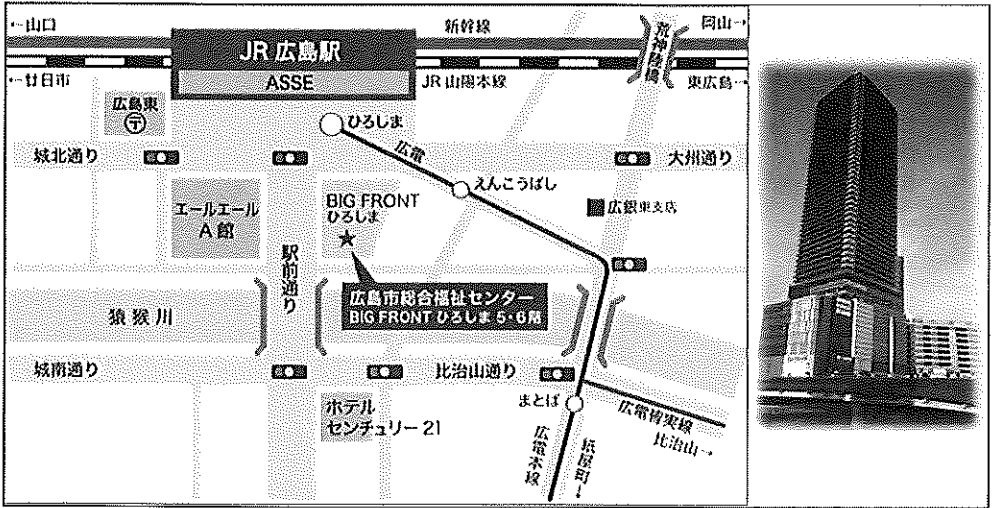
- ①所定の申込票をFAXでお送りください。
- ②受付確認票をFAXにてお送りいたします。
- ③参加費（3,000円）を下記口座にお振込みください。

（振込先預金口座名義）

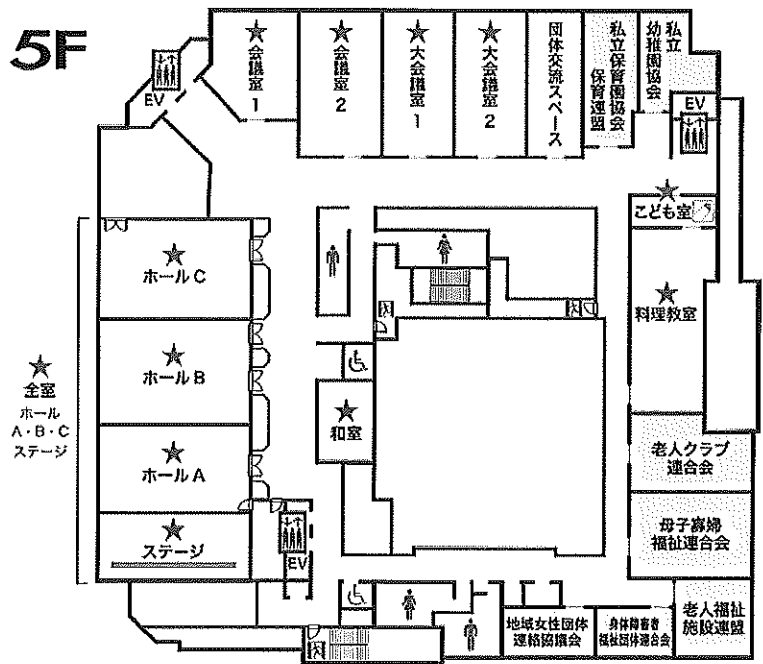
金融機関	ゆうちょ銀行
口座記号番号	01300-9-27521
加入者名	一般社団法人 広島県手をつなぐ育成会

※振込手数料は各自でご負担ください。

交通



広島市総合福祉センター



参加申込票

FAX (082) 537-1778

所属名		
電話番号	()	—
返信FAX番号	()	—
所在地(住所)	〒	-
参加者名	1	6
	2	7
	3	8
	4	9
	5	10

- ※ 申し込み締め切りは11月16日(金)とさせていただきます。
- ※ 複数で申し込みされる場合、代表者の電話番号、所在地(住所)を記入してください。
- ※ 参加者が多い場合はコピーしてください。
- ※ 会場の都合で200名になり次第締め切らせていただきます。
- ※ 申し込みをいただいた方に受付確認票をFAXにてお送りします。
- ※ 受付確認票が届いた後に、参加費(3,000円/人)をお振込みください。
- ※ 参加費の入金確認ができ次第、参加票をお送り致します。
- ※ 当日、参加票を受付で提出してください。

- ※ 参加される方からシンポジストへの質問を受け付けます。受付確認票と共にご案内させていただきます。

問合せ

一般社団法人 広島県手をつなぐ育成会 広島市西区打越町 17-27
TEL (082) 537-1773 FAX (082) 537-1778
e-mail kenhonbu@pref-h-ikuseikai.or.jp

(担当;事務局) 藤岡 哲